

検査の際は慌てずに！

検査機器から飛び出す事例が多発しています

検査ローラの下降中にアクセル操作等を行い、検査機器から飛び出す事例が**多発**しています。

これは、車検に慣れている方だからこそ発生しやすい事故と考えられ、事実、事業者の方が当事者になる例も多くあります。



ヘッドライトテストが損傷しますと、場合によっては修繕費が数百万円となる例もあります。

検査の際は慌てずに、確実に車両が沈み込んだことを確認してから、表示器に従って車両を操作していただきますようお願いいたします。



ヘッドライトテスト
レンズ面損傷の例

修繕費：**約300万円**



軽自動車検査協会

Light Motor Vehicle Inspection Organization